

2023年6月9日

SOMPOホールディングス株式会社

SOMPOケア株式会社

韓国 KB フィナンシャルグループとの韓国での介護事業の協業に関する 戦略的包括提携のお知らせ ～海外での介護に関する社会的課題解決への貢献～

SOMPOホールディングス株式会社（グループ CEO 取締役代表執行役会長：櫻田 謙悟、以下「SOMPOホールディングス」）およびSOMPOケア株式会社（代表取締役会長 CEO：遠藤 健、以下「SOMPOケア」）は、韓国最大手金融グループの KB フィナンシャルグループ（会長兼 CEO：Yoon Jong Kyoo、以下「KBFG」）およびその傘下会社の KB ゴールデンライフケア（社長兼 CEO：Jeon Young San、以下「KB ケア」）と、韓国での介護事業の協業に関する戦略的包括提携をすることに合意しました。

1. 背景と目的

韓国は、日本と同様に高齢化が進んでおり^(注)、良質な介護サービスに対する社会的ニーズが高まっています。一方で、韓国でも介護人材の確保は容易ではなく、介護サービスの品質を維持しながら、業務の生産性や介護職員のエンゲージメントを向上させることは、社会的な課題となっています。

高齢化と介護に関する課題が先行する日本において、当社グループが蓄積してきた知見や経験の活用によりグローバルな社会的課題解決の貢献を目指す当社グループの方向性と、韓国での社会的課題解決を目指す KBFG と KB ケアの方向性が一致し、本合意に至りました。

(注) 韓国の高齢化率（全人口に占める65歳以上の割合）は、2000年の7%から2021年には17%と上昇しており、2050年の高齢化率は40%とOECD加盟国の中で最も高くなるが見込まれています。



（6月8日に行われた調印式の様子）

2. 協業の概要

SOMPOケアはKBケアに対して、介護人材向け教育研修の実施や、日本での知見や取組みを活用した介護事業運営に係る各種アドバイスの提供を行い、KBケアの韓国介護市場での事業拡大を支援します。また、KBケアはSOMPOケアに対して、SOMPOケアの『egaku』事業やソリューション事業の韓国進出を目指す取組みを支援します。将来的には、両社が共同で新たに開発したサービスを韓国の介護事業者に展開することも視野に入れていきます。

3. 今後について

SOMPOホールディングスとSOMPOケアは、介護に関する課題先進国である日本での知見や取組みを活用して、海外においても介護に関する社会的課題解決に貢献することで、日本以外でも「安心・安全・健康」の実現に向けて取り組んでいきます。

【KB フィナンシャルグループについて】

2008年に国民銀行を再編し金融持株会社として設立。韓国最大級の総合金融グループとして、KB国民銀行、KB国民カード、KB証券、KB損害保険、KB生命保険などを傘下会社として有する。近年、デジタル事業や、介護・ヘルスケア事業といった新事業分野にも積極的に進出している。

【KB ケアについて】

KBケアは、KB損害保険の子会社として2016年に設立。現在、ソウルエリアで2つの介護付きホームと2つの高齢者向けデイケアセンターを展開しており、2028年までに高齢者向け住宅を含め全国34カ所に拡大する予定。「安心・信頼・希望」を企業理念とし、韓国の高齢化に関する社会的課題解決に向けて、高品質の介護サービスを提供している。

【『egaku』について】

『egaku』は、SOMPOホールディングスとSOMPOケアが取組んでいる介護RDP（リアルデータプラットフォーム）のサービス名称。介護RDPとは、現場に散在している様々なデータの統合・分析によって開発されたソフトウェアを活用し、介護品質の向上や人が人にしかできない業務に注力できる環境を実現していくもの。SOMPOホールディングスとSOMPOケアは、介護RDPを構築することで、未来の介護を実現し、日本における様々な社会課題の解決を目指しています。



（左から）Yoon Jong Kyoo 会長と櫻田会長



（左から）Jeon Young San 社長と遠藤会長

以上